

Nikkei Asian Review、4年連続でアジア出版者協会賞の最優秀賞に

日本経済新聞社の英文媒体「Nikkei Asian Review」(<https://asia.nikkei.com/>)は13日、アジア出版者協会(SOPA)の2018年協会賞の評論部門で最優秀賞を受賞しました。同賞はアジア太平洋地域に関する優れた報道を顕彰するもので、Nikkei Asian Reviewとしては4年連続の受賞となります。

最優秀賞を受賞したのは東京在住のジャーナリスト、ウィリアム・ペセック氏による一連の寄稿です。フィリピンのドゥテルテ大統領の政策をバネと絡めた分析や、中国人民銀行(中央銀行)の総裁人事の意味をいち早く指摘した評論が高い評価を受けました。SOPAの審査委員会は授賞理由について「ペセック氏のコラムは知識の深さと公平さを示す。重要なテーマを取り上げ、クリアな視点を持っている」と説明しています。



表彰状を受け取るステファン・ワグスティル Nikkei Asian Review コメンタリー担当エディター(左、13日、香港)
=Chung Lam-chi 氏撮影

SOPA賞はアジア太平洋地域に関する優れた報道を顕彰するため1999年に創設され、今年で20回目となりました。第一線のジャーナリストが審査員を務める格式の高い賞として知られています。今年の賞は2017年に英語または中国語で発表された記事が対象で、新聞・雑誌だけでなくオンラインメディアなど新しいメディアも含まれます。英Financial Times、米The New York TimesやThe Wall Street Journalなど欧米メディアのほか、香港のSouth China Morning Post、中国のCaixin Media、マレーシアのNew Straits Timesなどアジアのメディアも参加しています。

<Nikkei Asian Review について>

Nikkei Asian Reviewは成長著しいアジア経済圏の実態をアジア全域に構築したネットワークを通じて取材し、日経ならではの視点で報道する英文媒体として2013年に創刊されました。アジアビジネスに関わる人々に独自性が高いコンテンツを提供しています。日経の記者だけでなく、経済・政治の専門家や識者による評論や解説記事も発信しています。パソコンやスマートフォン、タブレットでご購読いただけるほか、週刊の雑誌(印刷版)でもお読みいただくことができます。

詳細は <https://asia.nikkei.com/about> で。

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1300人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である『日本経済新聞』の発行部数は現在約250万部、2010年3月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は60万人を超え、有料・無料登録を合わせた会員数は400万人を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)